



切手あれこれ 堀内 恵彦
 「切手の話」といっても 切手ばかりでなく 封筒に貼った形でない 意味のなくなるといった例をひとつおめにかけます。

この封筒(カバーといひます)は昨年3月 日航による世界一周航路の開設を記念して発行された記念切手の初日カバー(発行された最初の日の消印つき使用済み)ですが 記念切手に押されてあるのは 東京空港郵便局の消印で 67年3月6日8~12時となっています。ところが ごらんのように この封筒には米国切手で25セントが貼られてあり これにも消印があります。この消印はサンフランシスコ郵便局空港内分室の消印で

67年3月6日午前となっています。同じ封筒で どうして日本と米国の両方で 同じ日付の 時間もほぼ同じに消印できたのでしょうか おわかりの方もありますが これは日付変更線のイタズラです。日本から米国へ行くには 日付変更線て一日あともどりするわけです。このため羽田空港を朝10時に飛び立った航空機は日付変更線を越えて 前日の夜ハワイに着き 出発したものを持参して サンフランシスコで日本向の航空便として 差出したもので 封筒裏面に3月9日の日本到着印があります。郵便で依頼したのは 取扱時間の関係で このようなカバーは作れません。なお 国によっては他国の切手を貼って消印した封筒には 自国の切手をさらに貼って差出すことを拒否されることがあります。実はこの封筒は 私が自分で持参して 返送したのですが。一般の方ではこのようなものを作るのはむずかしいでしょう。

このようなものから切手だけを剝がしてしまえば 単なる使用済の切手というだけで おもしろみは全くなくなります。切手は使用した状態で保存するのが 最もよいということが この例でもおわかりでしょう。(筆者は元所現員 科学技術情報センター)

[61頁からつづく]

② アジアの油田・ガス田実例報告 Case Histories of Oil and Gas Fields in Asia and the Far East (M.R.D.S. No.20) 1963 年刊

アジア各国から送られてきた油田ガス田の実例報告集で新油田ガス田の探査・開発を助けるのが目的で編集されたもの。アジア地域の堆積盆地に発見されるような型の鉱床を図を用いて説明する。本文100頁 英文 ほか地図 図130をのせた61頁 販売番号64. II. F. 4. 2.00米ドル

以上28号の肥料鉱物の報告までが1968年1月1日現在すでに公開されたもので このあと近くで予定のものは 1965年秋東京で行なわれた第3回石油資源開発シンポジウムの報告(M.R.D.S.No.26) アジアの油田・ガス田実例報告集の第2号(M.R.D.S.No. 29) 1966年度の鉱業発展年鑑(M.R.D.S.No. 31)がある。いずれこれらも出版され次第おしらせしたい。

年鑑については前にもちょっとふれたように1~3年おくれでされることが多く これは各国政府から資料をうけとるのが もっとも早いものでその年度の次の年の9月位で 大部分の政府からの資料はその年の終り頃になるし また全然資料がやっこない国も大分あるという事情が大きく影響している。事務局としては各種の新聞・雑誌・単行本などから資料をあつめて資料のな

い国の分を作ったり おぎなったりするが十分のことはできない。だいたい資料のこない国々の中には地質・鉱産関係活動がみるべきものがきわめて少ないという国もないのではない。資料が集まってもその編集にまた数か月 ことばからなおしてかからねばならない報文も少なくなく 技術者でない編集専門家が意味をとりかねてわれわれにたずねてくることも間々ある。印刷はすべて香港で行なわれるから印刷校正にまた時間がかかる。結局早くて1年おくれ おそい時は3年もたってから公けにされるという結果になる。事務局の担当課は全員で1人または2人という時代がかなりつき 最近になってようやく数名の常勤課員がいるようになったが仕事の方もまた量がふえ 出版だけでも年鑑だけでなく 上にあげたような各種単行本や地図などがあり 出版の他にもいろんな会議の準備各方面からの求めによる情報のとりあつめ なかだち 技術的な要員・施設・便宜のせわ なかだち その他のいろいろの仕事があるので なかなか思うように年鑑を早くだすことができない。しかし年鑑がそうそうおくれでいては意味がうすくなるのでなんとか早くだそうと課員一同つとめている次第。日本政府はいつも立派な資料を早くだして下さる模範的な例だが このことのみならず日本の方々全体にあらゆる面での何分のご援助をいただきたいものである。

(筆者は元所員 現バンコクエカフエ事務局)